

特定非営利活動法人

HAS 発達支援センター

healing assist sincere sense



HAS 発達支援センター HAS 学童クラブ



相談支援事業所 キッズサポートセンター KIBOU



特定非営利活動法人
福祉型児童発達支援センター



HAS 発達支援センター

理事長 松田 翠

園長 中川 浩志

〒899-3403 鹿児島県南さつま市金峰町尾下 383-1

TEL 0993-77-2730 FAX 0993-77-2739

HAS 学童クラブ

〒899-3403

南さつま市金峰町尾下 383-1

TEL 0993-77-2880



療育センター ゆめぴか

園長 松田 翠

送迎拠点等で利用

〒897-0006 鹿児島県南さつま市加世田本町43番地6

TEL・FAX 0993-52-0018

相談支援事業所 キッズサポートセンター KIBOU

〒899-3403 南さつま市金峰町尾下 383-1

TEL・FAX 0993-77-2739



【療育センターの概要】

★設立趣旨★

早期療育の場として、地域に密着した療育支援活動を行い、希望する人はいつでも誰でも受け止めようという願いのもと設立されました。

★目的★

生活習慣の自立を目指し、身体を使って遊ぶ楽しさ、友達と遊ぶ楽しさを知らせるなど、年齢や発達に応じた援助を行いながら、子どもたちが意欲的で安定した生活を送れるようにし、また、保護者の悩みを受け止め、相談し合う立ち場を持ち、保護者の心の支えになることも大切にしています。

子ども達と家族が希望の持てる、元気のでる居場所づくりに努めることにより、福祉の増進を図り、社会全体の利益の増進に寄与することを目的にします。

療育とは…

「発達支援」「家族支援」「地域支援」の総合的な取り組み



★対象者 0歳～中学生くらいまで

★児童発達支援事業 未就学児 0歳～小学校入学前まで

★放課後等デイサービス 就学児 小学生～中学生くらいまで

★目指す子ども像★

- ① 健康で病気に負けない身体の子ども
- ② 基本的な生活習慣を身につけ、主体的に生活できる子ども
- ③ 気持ちを力いっぱい表現する子ども
- ④ 仲間を大切にし、仲間と共に生きる子ども

水曜親子は希望者に給食提供します

給食時準備

お手拭用タオル、エプロン（必要な子ども）、
はし・スプーンセット、歯ブラシ・コップ、白ごはん



登園

持ち物および準備…HAS用のリュックサックの準備をお願いいたします。
お帳面、お着替え、ビニール袋、帽子、ひも付きお手拭き（毎日持ち返します）、ティッシュ、持ち物には必ず名前の記入をお願いいたします。
また汚れてもよい服装で登園させて下さい。スモッグ・エプロンは必要時ご連絡いたしますのでその都度持たせてください。



通園の日

子どもたちが「HASへいくのだ。」という目的意識を持って登園して来られるように家を出る際、カバンをなるべく子どもに持たせたり、意識づけの言葉かけ等をおこなってください。

登園時のきまいごと

自分のくつ箱にくつを入れる。
カバンからお帳面を取り出し、
今日のところにシールを貼り、箱に入れる。
カバンを自分のカバン棚に入れる。



送迎について

母子分離が出来るようになり送迎可能な子ども、保育園に平行通園している子どもで日置市・南さつま市・南九州市付近の送迎を行っています。*親子活動の日は基本的には送迎はありません。

諸経費及びその他

おやつ代 実費
その他行事費用 実費
賛助会費 月500円（任意）



自由あそび

大型遊具あそび（トランポリン、巧技台）、ごっこあそび、ブロックあそびなど



おあつまい

自由あそびの後の解放感・満足感・安定感の中でぐっと落ち着き、保育者や仲間を意識しあい、集中できる時間です。次の活動への見通しももたせる。



（内容）水分補給、手あそび歌、名前呼び、絵本

* その日の保育内容や行事活動によっておあつまいが課題活動の中にも含まれることもある。

課題遊び

感覚あそび（土・水・紙・粉・砂・布・豆）、わらべうたあそび、散歩、音楽療法、絵本、園庭あそび、製作・描画、小麦粉粘土あそび、テーマあそび



おやつ

基本的には午後からのたんぽぽグループ・学童グループのみです。

帰りの会

さよならをして、お帳面を保育者から受け取り、カバンにしまって身支度をすませ帰ります。送迎の子どもは車に乗って目的地まで送ります。

* お便りや洗濯物の確認をお願い致します。

療育で大切にしていること



センターの保育・療育は、0～6歳という人間の一生の中で最も複雑で、重要な発達的变化を劇的に遂げていく時期を対象にしています。そしてそれは、子どもが社会的存在として自立していく基盤を育んでいく時期です。

障害をもつ、乳幼児にとっては、生命を維持すること、食べること、排泄すること、眠ること、遊ぶことといった生活基盤を作っていくことのいずれもが、子どもたち自身の障害との戦いであり、新しい発達の獲得への挑戦でもあります。

わたしたちは、子どもたちが障害を持ちながらも、人間として、一個の社会人としてそれぞれの地域の中で生き、子ども自身が人生の主人公として能動的に自分らしく身体を使い、道具を使い、表現・言葉を使い、人とかがわって生活していくことを見通して、幼いときから食べること、排泄することなどの生活文化を体得していく保育を創りたいと願い、日々取り組みをすすめています。

ただ単に遊び場を提供するだけにとどまらない、こうした取り組みは、就学前の療育実践になくてはならない重要な柱です。そんな中で互いに育ち会う子ども集団をどう構成するか、子ども一人一人に自分らしい生活の流れをどう持たせていくかということを常に考えて保育を創造していきます。



自由遊び

子どもたちが家でカバンを持った時から、センターへ向かう気持ちの始まりです。登園までの道のりも「あっ、この方向はセンターだ。もうすぐだ。着いた。着いた。」という気持ちの高まりの先に目的地「センター」があります。

その気持ちいっぱいにくらんでいる子どもたちの期待どおりの楽しいあそびや生活のあるセンターでありたいと考えています。その一番の受け止めの場が自由遊びの時間です。

自由遊びは、心と身体を外に大きく開く時間。大好きな先生やあそびを楽しくしてくれる仲間と一緒にいっぱい楽しむ中で身体をいっぱい使い大きな声を出して大いに笑いあいます。

課題遊び



自由遊びの時間に気持ちや身体を解放しきると自然に子どもたちの中に満足感や安定感が生まれます。そんな子どもたちの気持ちの落ち着きの中でぐっと集中して子どもたちの課題にせまるあそびを発展させながらじっくりと展開していきます。

あそびや生活の主人公は、子どもたち自身！

一日全体の展開を子どもたち自身が分かって（その子なりのペースやつもりを一つ一つその子自身が納得しながら）、生活を送っていけるために・・・



①小グループ編成

集団を創る一人として落ち着いて見渡せる仲間集団の編成の工夫。

②シンプルなデイリープログラム

一人一人、その子なりに前後のつながりが分かり、一日全体を自然な流れで展開していくことによって安定した見通しのある行動や規律ある生活を生み出します。

③次の活動への展開に場所移動や室内設定等変化をつける。

一つ一つの活動の始まりと終わりをはっきりさせ、活動の区切りを入れるとともに前後のつながりや展開を分かりやすくします。

④身辺自立への取り組みの工夫

一つ一つの生活を送るうえで必要な生活文化の体得をすすめていけるために食事・排泄・清潔・着脱等個々の子どもたちの課題に合わせて丁寧に取り組んでいきます。

各グループ紹介

★きらきら月

親子

親子の愛着形成を軸にしたクラスです。親子ならではのふれあいや共感を大切にしています。

A 9時～10時10分

★きらきら

親子

月曜日はみんなでおいしい給食を食べます。大人との共感を経て、次は「何をするのかな?」「どんなたのしいことがあるかな?」と期待がいっぱいの子供達がいるクラスです。たくさん先生達と遊ぶぞ!

B 10時20分～12時



★きらきら

分離

先生たちを支えにしながら、みんな、「たのしい」「おもしろい」「何かな?」の気持ちを共感しながら活動していきます。

C 9時30分～11時

★つくし

分離

元気な子どもたちのグループです。楽しい活動や遊びを通して、安心できる大人を支えにしながら、友だち同士の関わりも深めていきます。

水・金 9時30分～11時30分

つくし

自分の身のまわりのことに時間をかけずにできるように取り組んでいます。活動に参加して「楽しい」「もっと」という気持ちを大切にしています。

A 9時30分～11時30分

つくし

安心できる大人が架け橋になって、友だちとの関わりを増やしていきます。「ありがとう」「ごめんね」など友だちとの関わりに必要な言葉も伝えていきたいです。

B 9時30分～11時30分

つくし

大人を支えにしながら、友だちとの関わり方を身につけていき、みんなであそぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

C 9時30分～11時30分

たんぽぽ
月火

安心できる大人を支えにしながら、友だちとの関わりを広げていき、友だちと一緒に遊んで楽しかった。またやりたい!! の気持ちを感じられるようにしていきたいと思います。



14時～16時

たんぽぽ
木金



就学を控えた年長児のクラスです。「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、みんなで計画・実践していくことで、満足感・達成感を味わっていきます。みんなで遊ぶ楽しさ、協力することの大切さを感じていけたらと思います。

14時～16時

学
子
童

様々な活動を通して、ルールを守る経験を積み重ねていき、ルールがあるから楽しく遊べると感じて欲しいです。また、楽しく遊ぶ中で友達との関わり方を学び、コミュニケーションスキルや社会的スキルが高まるように促していきたいと思います。



14時～18時